

35 歳男性

瀬戸内海に浮かぶ小豆島。4日間という短い時間でしたが充分すぎる程、島での暮らしを疑似体験させて頂くことができました。東京に帰るのが本当に名残り惜しい。帰りたくない、ずっとここに居たいという感情を自然と作ってくれる素敵な「場」がここにはありました。部屋からは海が見え、カモメの鳴き声があたりまえのように聞こえる。歩いて10秒で海がある。夕食の野菜は農園のもの。島の人々と交わすあいさつ。なにをとっても地球と共に生きているんだという実感をもらいながらのワークショップでした。都会にいると「自分らしく」生きているつもりでも、どこか無理をしていたり、押し殺している自分に気づかなくなることに気づかされました。ワークショップは、言葉にすると野暮になる程、充実したものでした。自分が気づいていない自分が見え、新たな自分が生まれてくるのがリアルに実感できました。一言でいうと「夢中」、「夢のかけ橋」。密度の高い時間を作って頂いたと思います。演劇という未知未経験の分野でかつ自分をさらけ出すというプログラムがとても不安心配でしたが、全くそんなことなく楽しみながら自分の100%以上を出しきることができ、とてもすがすがしいです。全力で触れあって下さりありがとうございました。一緒に取り組んだメンバーと再会できる日が楽しみです。みんなありがとう。